

授業科目名		介護の理解		担当者		橋本 彩子	
配当学科・研究科		社会福祉		NO.		HS-SW-2-502	
必修・選択	選択	単位数	2.0	時間数	30	授業形態	講義
年次	2			履修期	2017年度 秋学期		
テーマと到達目標		テーマ:介護従事者として利用者尊厳の保持、人権尊重、自己決定権等の重要性を知り、それを実践するために不可欠な高齢者・障害者福祉制度サービスを学ぶ。 到達目標: ①介護従事者として、高齢者・障害者の特性を知り、利用者の尊厳の保持、QOL(生活の質)の向上のためにできる支援を考えていく。 ②ICFの視点について理解し、ストレングス、エンパワメント、アドボカシー機能といった用語を説明できる。 ③多職種の連携(チームケア)の重要性を鑑み、ケアマネジメントの実際を考察する。 ④我が国の福祉制度及び政策の体系と高齢者や障害者への直接的なサービスの概説ができる。					
概要		人間が避けては通れない高齢化・障害・疾病という課題を身近に感じ、自身の生活と結びつけて学んでほしい。 ①まずは、介護従事者として、利用者の尊厳の保持・自己決定の重要性、ICFの概念、ノーマライゼーションの理念を理解していく。さらに、我が国の高齢化の実態を把握し、介護予防施策を概説する。 ②また、高齢者・障害者が「自分らしい生活」を営むために不可欠な制度・サービスについて理解し、今後の課題を考察していく。 ③社会的問題となっている「虐待」の課題に触れ、介護従事者としての心構え、リスクマネジメントについて考察する。 ④多職種が連携して利用者をサポートするチームケアの重要性やケアマネジメントの実際についてビデオ視聴等を通して考察していく。					
評価方法		この科目では、講義型で実施するが、介護の現状・課題を自ら考え、参加型学習を求めている。授業中の発言・参加態度を重視する。(授業態度20%) また、(終講筆記試験における評価80%) なお、終講筆記試験の内容は、授業で実施した内容をレポート・小テスト等でフィードバックし、定着していく。					
履修条件・注意事項		①介護従事者としての資格取得に意欲的であること。 ②随時、資料を配布するのでファイリングしていくこと。授業では、資料にポイントを書き込み、自分なりにまとめていく参加型とするため、それに基づき復習、次回の予習(情報収集)をおこなっていく。					
自己学修		随時、講義の疑問点・感想をリフレクションシートにまとめ、全員で共有する。また、指示された次回の範囲を、テキストに目を通し、問題意識を持ち(予習)臨む。予習・復習にはそれぞれ2時間程度を要する。					
オフィスアワー		授業終了後、教室にて					
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1.社会福祉制度と高齢者の実態		講義	橋本
				2.利用者の理解①(尊厳保持・自己決定権・ノーマライゼーションの理念)		講義	橋本
				3. 利用者の理解②(ICFの視点・ストレングス・エンパワメント・セルフアドボカシー)		講義	橋本
				4. 介護保険制度の理解①(制度の創設)		講義	橋本
				5. 介護保険制度の理解②(サービスの種類)		講義	橋本
				6. 介護保険制度の理解③(財源)		講義	橋本
				7. 介護予防施策・日常生活総合支援事業の創設について		講義	橋本
				8. 成年後見制度と日常生活自立支援事業		講義	橋本
				9. 社会福祉制度と障害者の実態		講義	橋本
				10. 障害者総合支援法の理解①(制度の創設)		講義	橋本
				11. 障害者総合支援法の理解②(サービスの理解)		講義	橋本
				12. 利用者への虐待防止・権利擁護		講義	橋本
				13. チームケア・ケアマネジメントについて		講義	橋本
				14. 介護における安全確保とリスクマネジメント		講義	橋本

		15. 今後の課題・まとめ	講義	橋本
		16. 試験	筆記試験	橋本
教科書				
教・書籍名1	介護職員初任者研修課程テキスト(第1巻)		教・出版社名1	日本医療企画
教・著者名1			教・ISBN1	
教・書籍名2			教・出版社名2	
教・著者名2			教・ISBN2	
参考書				
参・書籍名1			参・出版社名1	
参・著者名1			参・ISBN1	
参・書籍名2			参・出版社名2	
参・著者名2			参・ISBN2	